

「言葉の院外処方箋」

新渡戸稲造記念センター 長 樋野興夫

第73回

『決めたことはやる ～ 縁の下の力持ち ～』

2021年9月4日(土)、筆者が代表を務めるリンチ症候群研究会 (lynchsyndrome.kenkyuukai.jp/)の『第7回リンチ症候群研究会シンポジウム 市民公開フォーラム「チーム医療でサポート！ リンチ症候群の診療」』（下記、添付）に赴いた。今回は、ZOOM ウェビナー(オンライン)形式で 当番世話人は河内洋 先生(がん研究会有明病院 臨床病理センター病理部)であった。スタッフの皆様の真摯な姿には、ただただ感服した。

開会挨拶：河内洋 (当番世話人)

代表挨拶：樋野興夫 (代表世話人)

第1部 座長：寺尾泰久(順天堂大学医学部附属順天堂医院産科・婦人科)

講演1「様々な経緯で診断されるリンチ症候群—患者様の治療選択のために—」

演者：植木有紗 がん研究会有明病院 臨床遺伝医療部

講演2「婦人科医から伝えます！リンチ症候群との付き合いかた」

演者：野村秀高 がん研究会有明病院 婦人科

第2部 座長：富田尚裕 市立豊中病院 がん診療部 (外科)

講演1「リンチ症候群の患者さんにおける内視鏡診療の実際」

演者：千野晶子 がん研究会有明病院 下部消化管内科

講演2「リンチ症候群の大腸癌に対する外科治療」

演者：長寄寿矢 がん研究会有明病院 大腸外科

第3部 座長：新井正美 順天堂大学医学部附属順天堂医院 ゲノム医療センター

講演1「診療現場における病理医の役割—縁の下の力持ち—」

演者：外岡暁子 がん研究会有明病院 臨床病理センター病理部

講演2「遺伝子の情報を治療や予防に役立てるためにできること」

演者：金子景香 がん研究会有明病院 臨床遺伝医療部 遺伝カウンセラー

第4部 座長：河内洋 (がん研究会有明病院 臨床病理センター病理部)

「リンチ症候群当事者会からのメッセージ」

本村のり子 当事者会代表

閉会挨拶：石田秀行 (埼玉医科大学総合医療センター消化管・一般外科)

今回は、『「粘膜内のがん細胞と粘膜下層に浸潤したがん細胞のリンパ管転移能の違い」の理由は何か？ 粘膜筋板を通過したがん細胞は、リンパ管に侵入出来るのか？ それを規定する遺伝子は？ また、大腸がんの免疫染色で、偶発的にリンチ症候群と判明した時に、患者への告知のあり方と倫理的課題』の学びの時となった。発表の記録本が発行されたら歴史的大事業となろう！

『病気であっても病人ではない』&『遺伝病も単なる個性である』の社会構築が人類の進む方向であろう！

筆者は、順天堂大学医学部の病理・腫瘍学 教授に就任する前は、大塚時代の癌研病理部 研修研究員 → ニューヨーク (New York) のアルベルト・アインシュタイン医科大学 (Albert Einstein College of Medicine) → 癌研病理部 研究員 → フィラデルフィア (Philadelphia) の Fox Chase Cancer Center → 癌研実験病理部 部長として人生を過ごした。筆者の恩師：菅野晴夫 先生 (1925-2016; 文化功労者) と「重症急性呼吸器症候群 (SARS)」が流行した時 (2002 年)、海外での学会と一緒に出席させて頂いたことが、鮮明に蘇って来た。日本の参加者はほとんどがキャンセルであったが、「主催者側がキャンセルしていない以上、一度決めたことはやる」との教訓で、海外の学会に参加したものである。筆者の「病理学者」としての原点ともなった。『吉田富三 (1903-1973; 文化勲章) → 菅野晴夫』は『「はしるべき行程」と「見据える勇気」を持って、`ブレない人物』の提示であり、まさに「コロナ時代」の訓練ではなかろうか！

第7回リンチ症候群研究会シンポジウム 市民公開フォーラム



「チーム医療でサポート！リンチ症候群の診療」

日時：令和3年9月4日(土)
14時00分～16時30分(入室開始：13時45分)

開催形式：ZOOM ウェビナー(インターネットによるオンライン配信 参加方法は下記参照)

開会挨拶：河内 洋 がん研究会 有明病院 臨床病理センター病理部

代表挨拶：樋野 興夫 順天堂大学医学部 病理・腫瘍学

第1部 座長：寺尾 泰久 順天堂大学医学部附属順天堂医院 産科・婦人科

講演1「様々な経緯で診断されるリンチ症候群－患者様の治療選択のために－」

演者：植木 有紗 がん研究会 有明病院 臨床遺伝医療部

講演2「婦人科医から伝えます！リンチ症候群との付き合い方」

演者：野村 秀高 がん研究会 有明病院 婦人科

第2部 座長：富田 尚裕 市立豊中病院 がん診療部(外科)

講演1「リンチ症候群の患者さんにおける内視鏡診療の実際」

演者：千野 晶子 がん研究会 有明病院 下部消化管内科

講演2「リンチ症候群の大腸がんに対する外科治療」

演者：長崎 寿矢 がん研究会 有明病院 大腸外科

第3部 座長：新井 正美 順天堂大学医学部附属順天堂医院 ゲノム診療センター

講演1「診療現場における病理医の役割－縁の下の力持ち－」

演者：外岡 暁子 がん研究会 有明病院 臨床病理センター 病理部

講演2「遺伝子の情報を治療や予防に役立てるためにできること」

演者：金子 景香 がん研究会 有明病院 臨床遺伝医療部 認定遺伝カウンセラー®

第4部 座長：河内 洋 がん研究会 有明病院 臨床病理センター病理部

「リンチ症候群当事者会からのメッセージ」

本村 のり子 当事者会代表

閉会挨拶：石田 秀行 埼玉医科大学総合医療センター消化管・一般外科

主催：リンチ症候群研究会 共催：公益財団法人がん研究会 有明病院

後援：NPO法人消化器がん医療推進機構

当番世話人：河内 洋(公益財団法人がん研究会 有明病院 臨床病理センター病理部)

参加費：無料

定員：500名(ウェビナーの定員)

参加方法：ウェビナーへの事前申し込みをお願いいたします。参加ご希望の方は、

①右QRコードを読み取り、申し込みフォームに入力頂くか、

または、②シンポジウム参加申し込み専用メールアドレス ganken3831@yahoo.co.jp までメールをお送りください(タイトル、本文は空欄で結構です)。メールの場合、折り返しメールで申し込み方法をご案内いたします。当日まで受付の予定ですが、定員に達した場合は事前に受付終了となりますので余裕をもってお申し込みください。皆様のご参加をお待ちしております。

参加申し込みフォームQRコード

